

「大野城まどかぴあ」の概要



(令和4年11月作成)

1 運営の基本方針

高齢化、国際化、情報化といわれる時代の中で、社会は新しい課題に取り組むと同時に性別に関わりなく多様な生き方や役割を求めています。

そんな新しい時代を生きる市民の『学び、語らい、いこい、ふれあい』の施設として建設されたのが「大野城まどかぴあ」です。

公益財団法人大野城まどかぴあは、公益財団法人として、また、大野城まどかぴあの指定管理者として「つどい・ふれあい・はばたく」というコンセプトのもと、次のことに留意しながら円滑な運営並びに事業を行います。

定款第4条

- (1) 文化・芸術の振興のための事業
- (2) 読書推進及び啓発のための事業
- (3) 男女共同参画社会の形成の促進を図るための事業
- (4) 施設の管理運営事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 建設の経緯

(1) 建設の目的

多目的複合施設「大野城まどかぴあ」は、市制施行二十周年の記念事業の一環として計画され、地域住民の学習・文化活動及び男女の自立と共同参画都市づくりの拠点施設になることを願って建設されたものです。

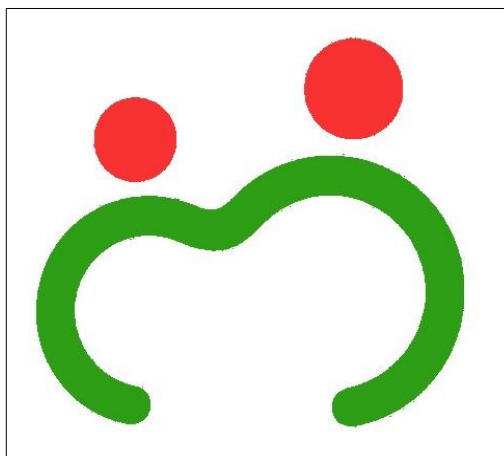
- ・平成8年3月 建設工事完成
- ・平成8年4月 (財)大野城市都市施設管理公社が管理・運営(平成18年4月指定管理者の指定を受ける)
- ・平成8年7月 「大野城まどかぴあ」開館

3 施設の概要

(1) 名 称 「大野城まどかぴあ」

「大野城まどかぴあ」の名称は、一般公募から選ばれました。「まどかぴあ」とは、大野城市におけるつどい、ふれあいの象徴的な言葉である“まどか”(円)と未来へはばたく所(トピア)とを合成した言葉です。

(2) シンボルマーク



シンボルマークについても一般公募から選ばれました。まどかぴあの「M」をモチーフに、人と人が楽しく語らう姿や成長、感動(ハート)をイメージして親しみのある形で表現されています。

(3) 施設概要

| | | | |
|---------|--------------------------|--------------------------------|--|
| ① 施設名 | 大野城まどかぴあ(開館日平成8年7月27日) | | |
| ② 構造・規模 | SRC造(一部RC造) 地上4階・地下1階 | | |
| ③ 建築面積 | 5,997.097 m ² | | |
| ④ 延床面積 | 複合施設本体 | 12,864.732m ² | |
| | 自転車置場 | <u>29.700m²</u> | |
| | 計 | 12,894.432m² | |

(4) 主要施設の概要

① ホール棟

ア. 大ホール 798 席(プロセニウム時)・992 席(アリーナ時)

※親子席 10 席、車椅子席 5 席を含む。

【付属施設】可動プロセニウム・はねあげ舞台・オーケストラ
ピット・小迫り・音響反射板・残響可変装置

イ. 小ホール 118 席(固定席)

ウ. 多目的ホール 300 席(椅子のみ)・162 席(椅子+テーブル)

【付属設備】舞台迫り・展示パネル

エ. その他 管理事務室・リハーサル室・練習室・楽屋・展示コーナー・
喫茶室(TOKIO)、他

② 図書館棟

ア. 1階:図書館・図書館事務室、他

※図書館蔵書数 268,030 冊 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

【一般書 171,624 冊 郷土資料 4,401 冊 外国語資料 1,863 冊
CD 6,173 枚 雑誌 12,987 冊 児童書 65,164 冊
学校セット貸出用 5,818 点】

イ. 2階:文化芸術振興課事務室・生涯学習センター事務室・美術室・
工作室・調理実習室・茶室・和会議室・会議室・授乳室・
託児ルーム・ラウンドコーナー

ウ. 3階:男女平等推進センター事務室・相談室・アクティブルーム・
キッズルーム・情報交流ひろば・会議室・授乳室・図書コーナー

③ 共用管理部門

ギャラリーモール、他

④ 立体駐車場

収容台数 284 台

●利用時間 午前 9:00 から午後 10:00 まで

(図書館:午前 10:00 から午後 6:00、金曜日は午後 8:00 まで、
土曜日は午後 7:00 まで)

(男女平等推進センター:午前 9:00 から午後 7:00 まで、土・日・祝日は
午後 5:00 まで、キッズルームは午前 10 時から午後 3 時まで)

(生涯学習センター:月曜～木曜の午前 9:00 から午後 8:00 まで、
金・土は午後 7:00 まで)

●休館日 毎月第 1・3 水曜日(休日の場合は、その次の平日)

年末年始(12 月 28 日から 1 月 4 日まで)

4 組織と管理運営

(1)大野城まどかぴあ名誉館長

佐藤 陽子 平成 21 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 7 月 19 日

(2)大野城まどかぴあ歴代館長

池田 満寿夫 平成 8 年 7 月 27 日 ～ 平成 9 年 3 月 8 日

佐藤 陽子 平成 9 年 10 月 1 日 ～ 平成 17 年 9 月 30 日

林田 スマ 平成 21 年 4 月 1 日 ～

(3)理事・監事一覧

(令和 4 年 11 月 1 日現在)

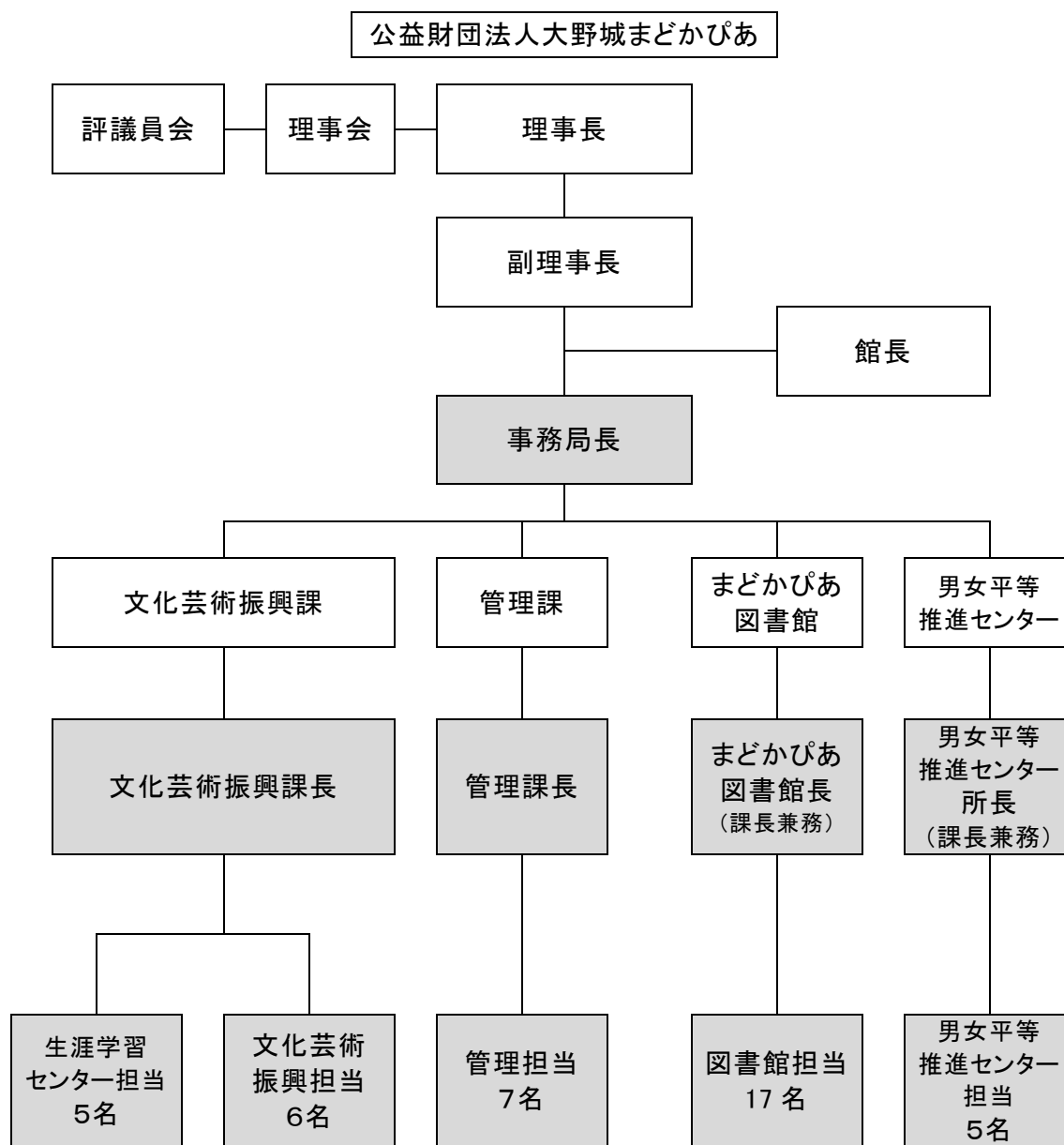
| 役職名 | 氏名 | 備考 |
|------|---------------|---------------------------------------|
| 理事長 | 安河内 俊明 | 画家 大野城市にぎわいづくり協議会 会長 |
| 副理事長 | 毛利 伸彦 | 大野城市副市長 |
| 理事 | 小柳 辰生 | 航空自衛隊西部航空方面隊 オピニオンリーダー |
| 理事 | 鳥居 正敏 | 大野城市社会福祉協議会 会長 |
| 理事 | 中嶋 真理子 | 大野城市文化連盟 会長 |
| 理事 | 平田 スマ (林田) | 独立行政法人国立文化財機構 理事 福岡県文化団体連合会 副理事長 |
| 理事 | 松永 洋子 (光行) | 九州産業大学 名誉教授 アジア美術家連盟日本委員会 副代表 |
| 監事 | 末竹 朝子 (南谷) | 南谷朝子公認会計士税理士事務所 所長 公立大学法人福岡女子大学 監事 |
| 監事 | 船越 康二 | 大野城市総務財政部長 |

(4) 評議員

(令和4年11月1日現在)

| 役職名 | 氏名 | 備考 |
|-----|--------|--|
| 評議員 | 安部 一枝 | 大野城投票率あつぷの会 代表 男女平等社会の実現を推進する「チームF」 会員 |
| 評議員 | 柴田 俊太郎 | 公益財団法人大野城まどかぴあ評議員選定委員会 委員 |
| 評議員 | 堤 幸子 | 書家 大野城市書道協会 事務局 大野城市文化連盟 事務局次長 |
| 評議員 | 原田 ゆみ子 | ミリカローデン那珂川 第三者事業評価委員会 副委員長 |
| 評議員 | 久野 啓子 | 大野城市食生活改善推進会 会長 |
| 評議員 | 宮崎 憲子 | 西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」 顧問 筑紫地区コーラス交流会 会長 |
| 評議員 | 吉塚 雄二 | 公益社団法人福岡県美術協会 顧問 福岡市美術連盟 理事長 大野城市美術協会 会長 |

(5)財団組織図



| 職名 | 契約職員 | 合計 |
|----|------|-----|
| 人数 | 45名 | 45名 |

(令和4年11月1日現在)

《文化芸術振興課》文化芸術事業の企画・運営・実施

生涯学習センターの運営・文化講座等の実施

《男女平等推進センター》男女平等推進センターの運営・市から委託を受けた事業の実施

《まどかぴあ図書館》図書館の運営・読書推進事業の実施

《管理課》全館の庶務・利用受付・館の維持管理

5 各課の事業内容

(1)文化芸術振興課

●文化芸術振興担当

文化芸術の振興による人づくりまちづくりを目指し、市民及び地域住民を対象とした次の事業を実施する。

① 文化芸術鑑賞提供型事業

市民及び地域住民に対し優れた芸術文化を鑑賞できる機会の提供。(音楽・舞台芸術・映画など)

② 文化芸術参加型事業

市民及び地域住民が芸術活動に参加し体験する機会や、創造し発表する場の提供。また、地域人材の育成を図る事業を実施。(音楽・舞台芸術・美術など)

③ 文化芸術教育普及型事業

文化芸術を普及することを目的に、まどかぴあ館内の事業に加え、地域や学校に多種多様な芸術を届ける館外事業を実施。また、他団体との連携を図る事業を実施。(音楽・舞台芸術・美術など)

●生涯学習センター担当

市民及び地域住民が能力を伸ばし、心身ともに健やかな生活を送るために、幅広い世代に向けて、ニーズに応じた学習機会と情報の提供を行う。

① 講座の開催

趣味や教養に関する各種講座・発表会の開催。

② 情報提供事業

講座情報誌の発行。

③ 受託事業

市から委託された大野城市視聴覚ライブラリーの視聴覚教材等の貸出業務。

(2)男女平等推進センター

情報交流ひろば、アクティブルーム、キッズルーム等を整備し、平成 25 年 4 月に愛称アスカールとしてリニューアルオープン。女性と男性が共同参画し、平和で心豊かなコミュニティ都市づくりに向けて、大野城市男女共同参画条例等に基づき、次の事業を実施する。

① 啓発事業

男女平等意識の醸成とともに、自立し平等に生活する環境づくりのために、子どもから中高年まで幅広い世代が参加しやすい内容から企業向けに関する内容まで、多彩な講座と研修の実施及び男女共同参画に関する情報の提供。

② 相談事業

多様化、複雑化する社会に対応するため、総合相談、臨床心理士や弁護士による専門相談、さらに福岡県福岡労働者支援事務所による労働相談並びに福岡県子育て女性就職支援センターによる就業相談及び斡旋の実施。

③ 支援事業

女性の自立と社会参画の支援として、再就職の技術・知識習得の機会提供や託児事業の実施。

また、各種サポーターの養成・支援、市民団体の活動支援と共働事業の実施。

(3) まどかぴあ図書館

地域住民の読書活動を支える機関として、あらゆる世代や多様化するニーズに対応した資料の収集、保存、提供を行う。図書館利用を通じて住民が、より豊かな生活を営むためのお手伝いを目的に、幅広い知識と情報の収集発信に努め、レファレンスサービスを実施。

① 図書館サービス

どなたでも利用しやすい図書館の環境を整備するとともに、来館困難な方への効果的な広域サービスのため、移動図書館の効率的な運営を実施。

② 図書館資料の整備

市民の知的欲求を満たす多様かつ広範囲な資料の収集。

郷土に関する文献の収集及び充実。

大活字図書等のやさしく読める本や「からだ情報コーナー」等地域住民の課題解決に役立つ資料の収集及び特設コーナーの設置。

③ 読書推進

ボランティアの養成やスキルアップのための講座を開設し地域や学校等での活動の充実につながるよう支援。

学校との連携を強化し、子どもの読書活動を推進するための事業を実施。

④ 情報発信

図書館ホームページの運営。

世代別情報誌の発行。

(4)管理課

利用者の安全性、利便性を重視し、次の事項に関する業務の実施。

① 利用者へのサービス

利用客の安全を重視した施設の維持管理及び整備。

② 施設情報の提供

利用者の利便性を図るため、まどかぴあ・いこいの森・総合公園の3施設の予約受付。

まどかぴあで行われる自主事業の案内を中心として、施設の利用促進及び周知を目的とした『情報誌 アテナ(Athena)』を毎月発行。

③ 施設の効率的な管理運営

市から委託を受けた施設を安全で効率的に運用するための管理、運営。

④ 経営の安定化

利用料金制度により、収入の確保と経営の安定化。

経費の節減と業務の効率化。

⑤ 全館事業及び連携事業

全館で連携している事業の実施。シビックゾーン内の大野城心のふるさと館、総合福祉センターと連携し、新たなにぎわいの創出を図るための事業を実施。

6 令和3年度大野城まどかぴあ事業結果について

| | | |
|---|----------------|-------------------|
| (1) 文化芸術振興事業(入場者数 4,898 人・参加者数 2,523 人) | 計 | 7,421 人 |
| 鑑賞提供型事業(音楽 2 事業・舞台芸術 2 事業・映画 1 事業・その他 3 事業) | 8 事業 | |
| 参加型事業(音楽 1 事業・舞台芸術 1 事業・美術 1 事業・その他 4 事業) | 7 事業 | |
| 教育普及型事業(音楽 4 事業・その他 8 事業) | 12 事業 | |
| | 合計 | 27 事業 |
| (2) 生涯学習センター事業 | 計 | 20,556 人 |
| ① 文化講座 | | |
| 定期講座 | 104 講座 (受講者 | 16,539 人) |
| 短期講座 | 43 講座 (受講者 | 839 人) |
| | 合計 147 講座 (受講者 | 17,378 人) |
| ② 定期講座発表会 | 1 事業 参加者・入場者 | 3,178 人 |
| (3) 男女平等推進センター事業 | 計 | 12,129 人 |
| 男女共同参画推進啓発事業 | 13 事業 (参加者 | 7,548 人) |
| 男女共同参画推進相談事業 | 5 種類 (相談者 | 551 人) |
| 男女共同参画推進支援事業 | 14 事業 (参加者 | 4,030 人) |
| (4) 図書館事業 | | |
| 蔵書数(内令和3年度収集冊数 | 12,660 冊) | 268,030 冊 |
| 登録者数(内令和3年度登録者数 | 2,238 人) | 56,641 人 |
| | (市外登録者数 | 20,648 人) |
| 貸出冊数(対前年度比 99.1%) | ※開館日数は 301 日 | 786,180 冊 |
| 貸出者数(対前年度比 99.1%) | | 193,040 人 |
| BM 車利用者数(貸出冊数) | ※稼働日数は 187 日 | 3,688 人(20,564 冊) |
| 地域貸出文庫貸出冊数 | | 275 冊 |
| 読書推進事業(「図書館へゆこう!!」他) | 11 事業 参加者 | 10,544 人 |
| (5) 管理課事業 | 4 事業 参加者・来場者 | 1,997 人 |

(6) まどかぴあ利用状況

| | |
|-----------------------|--------|
| 施設利用率(ホール・会議室等 22 施設) | 70.78% |
| 大ホール利用率 | 67.21% |
| 小ホール利用率 | 37.30% |
| 多目的ホール利用率 | 80.33% |

(7) まどかぴあ来館者数 計 352,835 人

| | |
|----------------------|-----------|
| まどかぴあ自主事業入場者・受講者・参加者 | 52,647 人 |
| 図書館利用者 | 193,040 人 |
| 貸館来館者 | 107,148 人 |

| | |
|---------|---------|
| 1日平均来館者 | 1,446 人 |
| 稼働日数 | 244 日 |

※稼働日数について通常の稼働日数は 333 日だが、新型コロナウイルス等の影響により、臨時休館となった期間があったため稼働日数は減少している。

7 令和3年度 収支決算

令和3年4月～令和4年3月期

(1)〔貸借対照表〕

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| I 資産の部 | | |
| 1. 流動資産 | 123,659,641 | 116,971,219 |
| 2. 固定資産 | 82,224,198 | 88,229,209 |
| 資産合計 | 205,883,839 | 205,200,428 |
| II 負債の部 | | |
| 1. 流動負債 | 38,847,465 | 36,942,557 |
| 2. 固定負債 | 453,550 | 453,550 |
| 負債合計 | 39,301,015 | 37,396,107 |
| III 正味財産の部 | | |
| 1. 指定正味財産 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| 2. 一般正味財産 | 163,582,824 | 164,804,321 |
| 正味財産合計 | 166,582,824 | 167,804,321 |
| 負債及び正味財産合計 | 205,883,839 | 205,200,428 |

(2)〔正味財産増減計算書〕

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | |
| 1. 経常増減の部 | | |
| (1) 経常収益 | 441,345,449 | 432,940,628 |
| (2) 経常費用 | | |
| 事業費 | 417,338,895 | 397,029,915 |
| 管理費 | 25,072,546 | 21,265,967 |
| 経常費用計 | 442,411,441 | 418,295,882 |
| 2. 経常外増減の部 | | |
| (1) 経常外収益 | 492,499 | 2,154,000 |
| (2) 経常外費用 | 648,004 | 2 |
| 当期一般正味財産増減額 | △1,221,497 | 16,798,744 |
| 一般正味財産期首残高 | 164,804,321 | 148,005,577 |
| 一般正味財産期末残高 | 163,582,824 | 164,804,321 |
| II 指定正味財産増減の部 | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| III 正味財産期末残高 | 166,582,824 | 167,804,321 |

8 令和4年度 収支予算

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 |
|--------------|--------------------|--------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | |
| 1. 経常増減の部 | | |
| (1) 経常収益 | | |
| 基本財産運用益 | 1,000 | 2,000 |
| 特定資産運用益 | 2,000 | 4,000 |
| 事業収益 | 71,044,000 | 68,548,000 |
| 受取補助金等収益 | 384,374,000 | 384,530,000 |
| 受取負担金収益 | 2,313,000 | 1,997,000 |
| 雑収益 | 1,841,000 | 2,053,000 |
| 経常収益計 | 459,575,000 | 457,134,000 |
| (2) 経常費用 | | |
| 事業費 | 433,928,000 | 451,810,000 |
| 管理費 | 32,121,000 | 28,967,000 |
| 経常費用計 | 466,049,000 | 480,777,000 |

| 科 目 | 当年度 | 前年度 |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| 2. 経常外増減の部 | | |
| (1) 経常外収益 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △6,474,000 | △23,643,000 |
| 一般正味財産期首残高 | 159,034,942 | 164,804,321 |
| 一般正味財産期末残高 | 152,560,942 | 141,161,321 |
| II 指定正味財産増減の部 | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| III 正味財産期末残高 | 155,560,942 | 144,161,321 |

(注1): 前年度予算額は、令和3年度補正予算(第5号)による補正後の予算を記載。

(注2): 予算額の一般正味財産期首残高は、令和3年度決算見込み額の一般正味財産期末残高を記載。

